

見えない情報を製品に印刷しブランド保護を実現

－転写技術を用いた見えない情報タグを開発－

セラミックス研究所 技術支援部

日 時 令和元年11月14日（木）14:00～15:00

場 所 県庁11階 商工労働部会議室

（発表の内容）

飲食器のデザインに影響を与えない特殊な顔料を用いて、情報タグを製品に印刷することで、裏印や落款印を偽装した粗悪な模倣品を排除することを目的とした転写技術を開発しました。

この事業は、株式会社高根シルクをプロジェクトリーダーとして、株式会社山加商店と工学院大学、セラミックス研究所の4機関で共同研究※1を実施し、これまでにない「見えない情報タグ」という画期的な転写技術の開発に取り組んできました。

◎開発した見えない転写技術の特徴

- 通常使用時には意匠を妨げることなく視認することができないが、ブラックライトを照射すると発光して情報タグ（QRコード）が出現
- 発光した情報タグは、市販のスマートデバイス（スマートフォンやタブレット）に搭載されているQRコードリーダーにて読み取りが可能
- QRコードには、半角・全角の文字列を入力することができるため、メッセージや製造年月日などのほか、URLを入れることで希望するホームページに誘導することが可能
- 金属（琺瑯）やプラスチック製品への応用が可能
- 令和2年2月に株式会社山加商店から本技術を採用した製品を販売予定

※1 経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業（通称サポイン事業）の補助を受けて研究を行いました



通常使用時



ブラックライト照射時



QRコードリーダーで読み取る

使い道はさまざま

※秘匿情報として活用

- ・真贋判定
- ・クレーム時の製品追跡調査
- ・作業工程の指示
- ・個人情報の秘匿化

※消費者へのPR

- ・製品ホームページへの誘導
- ・正規品であることの証明